



向日市在住の松井正一さんが考案した京鶴凧

## 親子歴史教室 凧をつくろう

凧あげは1月17日 市民ふれあい広場

新年の空に、自分で作った凧をあげようと、文化資料館で親子歴史教室が行われました。思いの絵が描かれた凧は、親子で悪戦苦闘の末、「若竹凧」として完成。1月17日の凧あげ大会を待っています。



▲凧の骨組みになる竹ひごに接着剤を丁寧に塗る。

▶凧の両端が60cmになるように、竹ひごにひもを結ぶ。お母さんの手助けが必要な作業。



▲2時間半の作業で全員完成。自分たちで作った凧が、大空に飛び日も近い。

## スペースシャトルのように 宇宙まで飛んでほしいな

お母さんと兄弟で参加した 明球陽介くん(向陽小6年)、裕之くん(向陽小3年)



今日は、弟とお母さんと初めて歴史教室に参加しました。凧づくりは小学校でやった凧をつくったのですが、和風の若竹凧の方が、むしろかしいです。特に、糸通しがいまうまいから、お母さんに手伝ってもらいました。17日の凧あげ大会までに飛ばす練習をしておこうと思います。凧に書いたスペースシャトルのように宇宙まで行ってください。たかなと思っ



## おもちゃ絵展開催中

子どもの遊び/その世界 図書館で二月二十八日まで

図書館では、江戸後期から明治中期に流行した版画を展示する「おもちゃ絵展—子どもの遊び/その世界」を1月28日まで開催しています。

会場には、お面の絵ばかりを集めた「面づくし」や歌舞伎役者を集めた「役者絵づくし」など47点を展示しています。

一度、足を運んでみてください。

入場は無料。開館時間は午前10時から午後5時まで。月曜・祝日は休館。



歌舞伎役者を集めた「役者絵づくし」

### おもちゃ絵とは

子どもの手遊び用に描かれた絵で、一枚摺りの浮世絵版画をさしています。

おもちゃ絵は、漫画・童歌集・かるたや双六のほか、今日のプラモデルの前身とも言える組み上げ灯籠・人形・ゲーム、また年中行事に使われる必需品・容器・室内装飾など、実に盛りだくさんな種類があります。それは、子どもたちの玩具であり、絵本であり、教科書がわりに広く使われるなど、現在の出版物以上に、幅広く利用されていました。



女の子に人気のあった着せ替え絵



子ども達の教科書がわりに使われた「人形いろは文字」



◀組み上げ絵「新板万當組上」



組み上げ後

組み上げ絵は、おもちゃ絵のなかでも、平面上に刷られた部分を立体的に組み上げていくもので、上方では立版古ともよばれました。立版行とも書き、切組灯籠、組上げ絵、起し絵とも言われています。

錦絵の玩具の一種ですが、家具、人物、舞台などを切り抜いて、糊で貼り合わせ、台紙上で組立てます。